

うみぎょう

第3回愛南町海業推進会議を開催しました！

12月13日(水)、役場本庁で第3回海業推進会議を開催しました。

会議は2部構成で開催され、第1部では前回の振り返りが行われたほか、株式会社価値総合研究所による「海業関連産業の域内取引構造の現状と課題」に関する説明がありました。価値総合研究所は、海業推進のポイントとして地域経済循環の構築には「何をやるのか」に加え「誰がやるのか」を決めることや地元の資本・資源・人材で取り組むことが重要であることを改めて話しました。



第2部では2組に分かれてグループワークが行われました。これまでの推進会議で出てきたさまざまなアイデアに対し、「すぐできるか」と「未来の愛南町にとっての重要度」という2つの評価軸を用いて、9つのカテゴリに分類する議論を実施しました。

今年度中のグランドデザイン(仮称)の取りまとめに向けて議論が深まっています。



全国初、家串湾の貝類養殖筏でJブルークレジット®認証取得!!

令和5年12月11日(月)、愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、愛南町役場が共同で取り組む「未来に繋ごう! 真珠のふるさと愛南町~幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト~」について、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合(JBE)が運営するJブルークレジット®認証の認証を受けました。本認証は、令和2年度にJブルークレジット®認証制度が創設されて以来、全国初の貝類養殖筏での認証であり、四国での認証は初(第1号)となります。真珠母貝養殖事業者の日常的な施業がブルーカーボン(海洋中の炭素)の生成に寄与していると評価された画期的な内容です。

【Jブルークレジット®認証ってなに??】

日本政府は、2050年までに二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出をプラスマイナスゼロ(=カーボンニュートラル)にすることを宣言しました。世界では森林のみならず海もCO₂の吸収源として注目されています。全国で行われている藻場の保全などさまざまな海洋生態系の保全活動によって海洋中に吸収・固定されるCO₂を定量化し、お金として取引可能にしたものを「Jブルークレジット®認証」といいます。



【今後の取り組み】

取得したクレジットは、環境や真珠産業の保全・活性化に活用し、持続的な水産業の確立や水産人材育成など海業の取り組みにも活用し、町全体の活性化を図ります。

※「海業」は、「海や漁村の魅力と地域資源を活用して水産物の消費拡大と所得向上を図る事業」を総称した言葉です。水産課海業推進室では、ぎょしょく教育や水産物販売促進、魚類真珠養殖支援、漁場保全など、これまでの水産振興の取り組みに加えて、漁家民宿や体験観光、マリンレジャーなど、漁業・水産業にとどまらない海に関連した取り組みを行っています。



愛南町
ホーム
ページ